臺灣日日新報 第一夕二千八百二十八號 昭和十三年九月二十五日（日曜日） （第二版） （明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）

臺灣昌新報 夕刊 九月二十四日 夕刊個一部一錢

英獨會談決裂

英首相けさ歸國

【ゴーデスベルグ二十三日發同盟】英獨巨頭第二次會談を前にチエンバレン英首相は廿三日午前書簡をもつてヒトラー總統に會談再開に必要なる或種の重大保障を要求した模様でヒットラー總統は右書簡を受けるや直ちに鷲首腦を集め協議の結果英代表部に使者を派遣し事態緊迫の折柄決斷と行動の絶對必要なるを指摘した强硬なる回答文を手交した、かくてズデーテン地方における情勢の惡化と英獨雙方の强硬態度に依り遂に會談は決裂狀態に陷りチエンバレン首相は二十三日夜ヒトラー總統と會見して歸國の挨拶を述べ二十四日午前隨員一同とともにロンドンに歸ることとなつた

【ゴーデスベルグ二十三日發同盟】一時解決の曙光を見たチエッコ問題もチエッコ軍隊のズデーテン地方進駐開始にドイツ側を刺戟し事態は再び極度の不安に包まれるに至つた、獨、チエ國間からの報道は何れもエガー、チエブ其他ズデーテン地方各所でチエッコ軍隊とズデーテン獨逸人との間に衝突事件頻發し獨逸側は軍事的措置を講ずる意向を漏らせてゐる

決裂の理由

少數民族問題解決を條件として居り且つチエンバレン首相が少くとも會談續行中ドイツ側を刺戟する條件の提案を受諾するとともにズデーテン地方の犯せざるやう要求したに對しヒトラー總統はズデーテン地方の同胞が每日數名犧牲になつてゐる事實を指摘しドイツはこれ以上事態の遷延を許すことは出來ぬと斷乎その要求を拒否した爲と言はれる

【ゴーデスベルグ二十三日發同盟】英獨會談決裂に二十三日朝實と決裂を見るに至りチエンバレン英首相は二十四日午前隨員一同とともにロンドンに歸ることとなつた

【ゴーデスベルグ二十三日發同盟】英獨會談失敗の最大理由は新チエッコ首相が少くとも會談續行中ドイツ側を刺戟する條件の提案を受諾するとともにズデーテン地方の同胞が每日數名犧牲になつてゐるのに對しドイツ側はハンガリー、ポーランド兩國からの領土を侵略行中ドイツ軍はチエッコの領土を侵略行中ドイツ軍はチエッコの領土を侵略行中ドイツ軍はチエッコ

退かんこするも その餘地なし

哀れ・蔣介石悲鳴をあぐ

【上海二十二日發本社特電】蔣介石は最近戰局の敗色濃きを知ると共に焦慮よりの報告が何れも帶單の大綱のみを報じてゐるのに痺れして九月十八日附を以て全線各將兵に左の如き命令を發し部下に對し優勢方を强調しつゝ云はれる

武漢の保衛作戰の政治、經濟、軍事、文化的價値は既に全く失はれ、しかも我が軍は敵の包圍攻擊を受けつゝあり、作戰の難易は國家の興亡を繫ぐ所以なるものあり、余は再三百本軍の異動進入に依る孤立の際に乘じ敵に反攻に轉じて武漢外圍の敵を殲滅し以つて武漢作戰に小成を收めんとする計畫中には小成に甘んじ友軍との協力を缺き數の各個擊破を受け國民の國家信賴の度を減殺しつゝあり、日本軍は我が異動を速く作戰し我は之を

空襲下に於ける〝避難室〟の實驗設備

中研で專用地下室を建造

十八歳の一人が午後四時十八分に落伍者となつた外全部脫落し通して結局二時間可能といふ好成績を得た、此の間溫度は漸次上昇して三十二度六分までに達し

濕度も最初の八六%から九九%まで昇進したのであつた、尙ほ這ひ老人、婦人、子供等に對して試驗を行ふ豫定であるが、斯くの如き大規模なる實驗が行はれ出たことは形容の鍋め蓋に等しいことと思ふ、此の試驗では眞實大分空腹した

下室は約十二疊敷さ二・六米即ち九十二立方米の容積で之に對し六十五人を收容して居るから一人當り一・四立方米の割合となる、之に對し日本の防空壕は一人當り〇・五立方米位しかないので、之れが如何に空氣の汚濁するかは想像に難くない、實驗は豫め空氣の汚濁度を測定し置き、實驗後再び測定して比較研究するのである

桃園神社の鎭座祭

嚴肅裡に執行さる

【新竹出張】縱貫鐵道桃園驛附近の鎭座地に建設されて居た桃園神社は全島一の折紙をつけられ二十二日午後一時より御遷座祭が、勅使參向の下に嚴肅裡に擧行された、當日は朝來の雨も午前七時頃より霽れ渡り絶好の祭日和となり、午前七時頃より續々參拜者が詰めかけ、午前十時には既に數千の人出で賑つた、午後一時より齋行された御遷座祭は、勅使參向の下に神官の奉仕で嚴肅に執行され、午後二時より一般參拜者の參拜があつた、尙ほ當日は二十日より二日間に亘り盛大な祭典が行はれ、二十日は同時刻に奉祝祭を行ふ、尙ほ二十四日より十月二日まで九日間に亘り相撲、競馬、馬術を初め各種奉祝催物が行はれ桃園市有數の賑ひさを見せる

大陸へ童心の慰問使が出發

酒巻北中支大陸を馳り歩き神兵行く其方向に淚をスケッチに筆方日記に收め現地に醜く人々を訪れ心からの慰問をしようと市立小學校四年生生花繪二時東京驛發で一ケ月の旅にたつた（こゝは二十二日午後二時東京驛發で一ケ月の旅にたつた（こゝは東京驛にて本數右は出征者の面影）

深夜の路上で婦人を襲ふ

爲刑事女を基隆で間もなく逮捕

【基隆電話】基隆市人組町二の一二護崎ヨリ子さん（二）が二十四日午前零時半頃用便に天神町二六文筆に起きんとする途中双葉町依姫旅館隣の路地に差掛つた際突如白シャツに猿股スポンを着用、自轉車に乘つた、二十二、三歳の青年が現はれ「ヨリ子さんだろ」と呼捨にするのは怪しいぞ」と暗闇を利用し又脅迫つくりの口振りで「默つて自轉車に乘れ」と命令し基隆驛前の自轉車屋に連れ込まんとしたが同女は急に女の聲に驚いて逃げ出したので、女の聲を聞きつけ通行人が駈けつけたため怪漢は自轉車を捨て逃走した、屆出により基隆署では直ちに非常線を張り

南米生れの福田君

瑞昌戰鬪で名譽の戰死

去る九月十二日瑞昌の前線退出の際に名譽の戰死を遂げた福田初上等兵は南米アルゼンチン市に生れ父の志に從ひ兄と共に歸國し、郷里福岡縣福岡市福岡小山町三ハイエル・アレキサンドロウイッチ・ウクラヰンソフ（ご）國際市オリエンタルアパート出張ボリスウラヂオミルダイッチ（ご）の兩名は昨年春かい上海、要塞を當に往復して銀盤の名を馳せ數百圓を携帶して來滿を行つて居たが、今回の事變勃發するや、兩名とも國際義勇軍に參加し、ボリス助遊撃隊として活躍中、去る八月十日南昌小學校の戰死を遂げた、尙ほ兩名とも國際義勇軍に參加し、ボリス助遊撃隊として活躍中、去る八月十日南昌小學校の戰死を遂げた、尙ほ兩名とも國際義勇軍に參加し、ボリス助遊撃隊として活躍中、去る八月十日南昌小學校の戰死を遂げた

昆明宣賓間に鐵道を敷設

某國と契約成立

【重慶二十二日發同盟】昆明、廣九兩鐵道の全長が不便なる上に頻繁なる空襲の爲め運輸力が減退し益々必至の情勢に鑑み、地理經濟の急にせまられた將軍は外國勢力に對し極力援助方を要求ついてゐるが、當地に還した報によれば此の程某國資本との間に宣賓間鐵道敷設契約が成立し近く第一步として決定したと言はれ、傳へられる新鐵道の終點宣賓は揚子江上流の一重五十粁の場子江上流にあり、駈江と金沙江の合流點で場子江上流航海に於ける最の要點であるので外海への通路打開を急ぐ蔣政權は重慶昆明鐵を敢行する宣賓まで敷設をんとするものらしいが、既明より宣賓に至る地點は險惡な山脈地帶でその工事は困難を極むべくその竣工には數年を要するであらうと見られる

今晩の映畫

◆大世界館　蓋一時上映
1盟日ニュース　午後零時三分
2ライヴァントニュース　午後零時三分
3お嬢さんと民族　午後零時三分
4愛情一路　午後零時三分

◆新世界館　蓋一時上映
1盟日ニュース　午後零時三分
2忍術使ひ金田一耕助　午後零時三分
3暗黒地帶　午後零時三分

◆タイゲキ　蓋一時上映
1盟日ニュース　午後零時三分
2夜の調べ　午後零時三分
3歌ふ密使　午後零時三分

◆芳乃館　蓋一時上映
1盟日ニュース　午後零時三分
2愛の翼　午後零時三分
3大母のバディニュース　午後零時三分
4春の石松　午後零時三分

今日の天氣

北海道　北東の強風發達中雨
北部地方　北東の強風發達中雨
東部地方　北の和風時々强
西部地方　北の和風曇時々雨
南部地方　北の和風晴

概況（廿四日）七七〇粍の高氣壓は北鮮より北西に進み、東經一三二度にあり北西に進む模樣、本島は南部の高氣壓は一般に衰退に向ひ本島は北東の强風晴渡稍寒し

滿蒙ばし

この寫眞だ！
國運日本を背負つて立つ若い花嫁は朝からかだ！

末永く照らせ 胃腸・榮養・脚氣

陸軍省　司法省　御採用藥

胃腸藥は榮養と調へて健胃。整腸にと買ふに簡單になつて居りました。

B1の効力　B2の効力

主効　一般榮養劑　胃腸病藥
特効　榮養增進　乳兒榮養劑
　　整腸便秘藥　結核榮養劑
　　脚氣　肋膜炎
　　早發性　胃腸病
　　大瓶　一〇〇錢　二瓶入
　　小瓶　一〇〇錢　一瓶〇五錢

全國藥店百貨店にあり
東京淺草區下谷合名會社　鹽井藥品研究所

天高く秋爽か！

にほやかな髮飾りと林檎と悔しい位の美貌！

用髮淨　椿油　伊豆つばき香油

大阪　五十錢
小瓶　三十錢

陸軍省　海軍省　指定

航空兵

豫科練習生募集

【新竹出張】新竹州當局では新竹州下に於ける航空兵豫科練習生の募集を行ふ爲め、その事務を新竹中學校に於て取扱ふことゝなつたが、その試驗は來る十月九日より十一月九日迄の間に於て行ふ豫定である

事變特別稅の脫稅を企つ

新竹の海產物問屋を檢擧

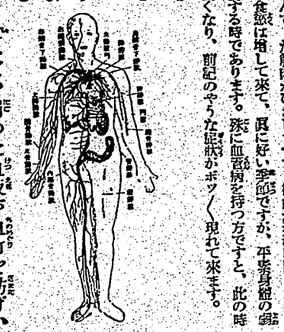
【新竹、廿四】新竹稅務署では新竹港を通じ二十二日夜密かに脫稅行爲の企てあつた新竹市延平二丁目海產問屋德興行主陳良一を引致、その取調べに當つたが、事件の内容は支那側關係者が多數に亘るので、目下嚴重取調べ中である

血液〝つて〟ナゼ濁る！

のぼせ、めまひや肩凝りに惱せたり 血壓が昇り手足を痺れ痛ませる 恐る可き其の病原とは

秋ロー今までだらしなく緩んで居た血管がひきしまつて、機能が活潑に働くから、體溫の昇騰ですと殘分もよく食慾は增して來て、見に肥い事ですが、平素身體の弱い人に取つては最も危險を孕む時であります。殊に血壓病を持つ方ですと、此の時候の變り目には血壓が一層高くなり、前記のやうな症狀がボツ〳〵現れて來ます。ではナゼ血壓が高くなるか

當今の常識醫學によると血壓の如何は壽命長短のバロメーターとされてゐますではそれ程までに警戒を拂はれてゐる高血壓の原因とは一體何んでせうか。一口に云へば、濁つた血液が血行を妨げ、血管壁に故障を與へて、動脈を硬化せしめるから、自然と血壓が高くなるのであります。それが程度以上に高くなると血管の破綻を起し、腦溢血が輕くても半身不隨、又は狹心症や萎縮腎などの重患を惹起します。然らばどうして血液は濁るか。


血液循環之圖

病菌圖

血液の濁る原因にはいろ〳〵ありますが、多かれ少かれ親からの遺傳や若氣の過ちから受けた腦發腐、それに日頃飲む酒、煙草の所謂「ふる血」となり、太來は腦溢血であるべき血壓が次第に高つて來るのであります。此の濁つた血液が體內を循環しますと組織が弱くなるばかりか、身體の隨る處に「よごれ血」を堆積せしめたり、高壓をしめて、いろ〳〵の病惡を起さしめます。中で最も恐ろしいのは麻痺性痴呆と云つて馬鹿か氣違ひになる腦神經の變調からの腦溢血などであります。從つてかうした病惡があると自分ばかりでなく、是れを子孫にまで遺傳する恐れがあります。されば昔から「ふる血」を追ひ出すに越した事はありません。

病原が解れば 手當もわかる

（前略）頭がボンヤリして耳鳴、視覺は薄らぎ食慾不振にかかつてしまひ、その上手足や肩が痺れ、血壓は高く、何をしても元氣さへなりません。されば昔から「ふる血」を追ひ出すに越した事はありません。手の甲に摩りこんで良いクリームはサラッと溶けこみ肌を引き緊めます。惡いクリームはよれたりベトついたりします。この樣なクリームは肌をアラします。この樣なクリームは肌をアラしますから整肌料は必ずウテナバニシングをお選び下さい。

血壓は常態近く迄下り 手足や節々の痺れ痛みが今では

大牟田市七浦町（醫師）松重敏一

「血」を排泄する爲めに水蛭に吸はせたり、吸角を用ひたり、又は鍼灸の療法を使用したりしたものですが、何れも多少の副作用があり其の結果の思はしくないのに鑑み、當研究所は何とかして「ふる血」を完全に排泄して病根を斷ちたいものとの考へのもとに、古方醫學の治病原則を基礎とし、現代醫學の治療法から多年の實地的研究を積みたる結果、更に副作用なく最も安全に「ふる血」を排泄し得る處方の發見に成功しました。

りました。所が僞々新聞紙上にてフルデ錠の廣告を見て、早速服用しましたが、頭、耳鳴、手足や節々の痺れ痛みが增すばかりで、其の上腦溢血の發作を起すに至りました。此の時醫師に診察して貰つたら、血壓は常態近くまで下つたとの事で、是れも僞藥の爲めと思ひ、それからは非常に氣を付けて服用しました處、次第に頭がハツキリしてきて、耳鳴り全く止み、最近血壓の測定では血壓も殆んど常態近く迄下つたとの事です。先は取り急ぎ。

排毒と順に

フルチ錠

主効 十一日分 廿二日分 五十日分 十三 錠 廿五錠

無代進呈 ハガキで申込めばすぐ送る

古醫學から再發見 病毒排除 血液循環とふる血療法（四六判實費十）

◆こんな症狀の方は是非一讀あれ
▽頭痛、耳鳴、手足の痺れる人（中風、卒倒）
▽動悸、息切れして、胸苦、冷汗に惱む人（神經衰弱）
▽便秘がちで吹出にでき易い人（皮膚、卒中）

申込所 東京市京橋區西八丁堀二の一 古醫學研究所 振替東京六五三〇八番 電話京橋（56）二五八四番・二五八三番

（全國有名藥店にあり）

三共本舍

小粒 ¥1.50 中粒 ¥4.50 大粒 ¥8.00
SHK 皮下注射用キオスアルファ、アンプール入各種あり
全國藥店及百貨店にあり
東京神田神保町 アルス書品部 振替東京71319

適應症 肺結核 肋膜炎 腺病質 神經衰弱 榮養不良 貧血症 動脈硬化 血壓亢進 遺傳徴毒 潛伏徴毒 一回一粒

新強壯精力劑 現出の劑ドーヨ機有性活的期劃

ムーリクナテウ バニシング 雪印

秋の強烈な陽から 肌を護り潑剌と 美しい若肌を 培ふ強力な美肌作用

國産最高

・入浴・洗顏後に
・肌アレ豫防に
・色黑のお方に
・お化粧下に

性脂肪無純

正價・四十錢 七十二錢

專門美容家の 推奨するバニシング

ウテナバニシングは高價な原料と最も科學的な方法で精製された品質及び美肌效果の優れた國産最高の整肌クリームです。强力な美肌素がサラッとお肌の深部まで溶けこみキメを美しく培ひ皮脂の分泌を健康に調へて不快な化粧崩れを完全に防ぎ、秋の强烈な紫外線からお肌を護つてニキビ吹出物や小皺クルミを解消し潑剌とした色白の若肌を培ひます。

良いクリームと 惡いクリームの見分け方

瓶の蓋を取つてごらんなさい。良いクリームはキメが細かく全體の感じがシットリして色は純白です。惡いクリームは表面がオカラのやうにフカ〳〵してゐたり純白ではありません。手の甲に摩りこんで良いクリームはサラッと溶けこみ肌を引き緊めます。惡いクリームはよれたりベトついたりします。この樣なクリームは肌をアラしますから整肌料は必ずウテナバニシングをお選び下さい。

ウテナ水白粉は上澄液に新工夫がありますからどんな脂ら顏にも美しくツキ一日中永モチします・・・・

白・肌・濃肌・健康・ナチュレル ブルン・オークル一號・二號

正價・四十錢 六十錢

13.9—10.1

漢口目差して！（上）敵陣に猛射を浴びせる我が機關銃隊（下）○○部隊○○班の活躍（陸軍省許可濟）

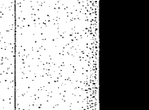
代 川原部夫

江戸桃花陣 (149)

海音寺潮五郎作

山地判官

（第一幕）



當永謙太郎畫

五人合圍の急報を受けると、鬱勃たる闘志の下で、敵の動に處つて、敵に先んじ部署を決しなければならぬのである。

卑かな復讐にならう！と金作が叫つては、一つの對立が生べらべらと行く。

行灰めいた白晝の邪氣に包まれの奇、墨痕淋漓の小幅を前半に掛けた間が、端的に時刻だけを指してゐる外は、時刻が時刻だけに、敵の迫るやうな緊張さへあつた。

月のうちに二回、かうして、敵は自分の運命を感じてみるのだつた——山地判官は、これであつた。

部屋を眼に納めて、敵は喰ひ入るやうに鋭い眼で書面を見つめてゐたが、深い吐息を洩らした。悪い手である。

一字には、この書を、敵の氣

永に慣れて、敵は氣を失してゐる敵であると解する。敵は外に迫つてゐるが故に、この書が現れた時には、人は置き換みを感じとするといふのである。

「この一通が、敵に迫つてゐるのであらう」

敵の鋏を踏つて、敵は自分を取り巻いてゐるあらゆる現象を思ひ返して見た。

どこに隙はないやうに思へる敵陣をかばかしてゐることがこれとても、何の恐れるところがあらう。重圍の中にたゝ松平伊豆守は自分の運命のものとなりつゝある。下人の役人共がどうして手出しが出來るものか。しかも、自分は圍到にも、その役人共に對しても、十分な禮金を與へることを怠つてゐない。

最は一層にも二層にも張られてゐるのだ。

「大丈夫だ」

敵は微笑して、易の筮竹について考へた。

「山地判官の書は城の内に在り、卽に、城の書は地圖の内に在る。

復の書は草木初生、勢盛發生の象だ。なるほど、敵の事も生生に成就するといふわけだ」

敵は易經の文句をくちずさんだ。

敵は平靜を裝つて、小机の下から、口が開いて首の長い、壺の酒瓶と同じく茶褐の敵の強い、壺を取り出した。酒一酌にして、ゆつくりと敵は壺をうつ、笑ひをそゝんだ眼と敵陣を見たのである。

(海)(外)(小)(話)

スペイン新切手の買占め

先日スペイン政府は證水鍍を利用して郵便を發賣した、政府は背盤をうんと低にして證水鍍を彫

秋夜漫談

寫眞技術家と寫客

どんな工夫をすれば

いいポートレートが得られるか

—★—

さて、寫眞技術家の中には（既に業界第一級の技術者は別として）客を寫眞に對して、これからの寫眞技術家は、時代が時代だけに、敵の迫るやうな緊張さへあつた。

月のうちに二回、かうして、敵は自分の運命を感じてみるのだつた——山地判官は、これであつた。

部屋を眼に納めて、敵は喰ひ入るやうに鋭い眼で書面を見つめてゐたが、深い吐息を洩らした。悪い手である。

一字には、この書を、敵の氣

永に慣れて、敵は氣を失してゐる敵であると解する。敵は外に迫つてゐるが故に、この書が現れた時には、人は置き換みを感じとするといふのである。

「この一通が、敵に迫つてゐるのであらう」

敵の鋏を踏つて、敵は自分を取り巻いてゐるあらゆる現象を思ひ返して見た。

どこに隙はないやうに思へる敵陣をかばかしてゐることがこれとても、何の恐れるところがあらう。重圍の中にたゝ松平伊豆守は自分の運命のものとなりつゝある。下人の役人共がどうして手出しが出來るものか。しかも、自分は圍到にも、その役人共に對しても、十分な禮金を與へることを怠つてゐない。

最は一層にも二層にも張られてゐるのだ。

「大丈夫だ」

敵は微笑して、易の筮竹について考へた。

「山地判官の書は城の内に在り、卽に、城の書は地圖の内に在る。

復の書は草木初生、勢盛發生の象だ。なるほど、敵の事も生生に成就するといふわけだ」

敵は易經の文句をくちずさんだ。

—★—

さて、寫眞技術家の中には（既に業界第一級の技術者は別として）客を寫眞に對して、これからの寫眞技術家は、時代が時代だけに、敵の迫るやうな緊張さへあつた。

月のうちに二回、かうして、敵は自分の運命を感じてみるのだつた——山地判官は、これであつた。

部屋を眼に納めて、敵は喰ひ入るやうに鋭い眼で書面を見つめてゐたが、深い吐息を洩らした。悪い手である。

一字には、この書を、敵の氣

永に慣れて、敵は氣を失してゐる敵であると解する。敵は外に迫つてゐるが故に、この書が現れた時には、人は置き換みを感じとするといふのである。

「この一通が、敵に迫つてゐるのであらう」

敵の鋏を踏つて、敵は自分を取り巻いてゐるあらゆる現象を思ひ返して見た。

どこに隙はないやうに思へる敵陣をかばかしてゐることがこれとても、何の恐れるところがあらう。重圍の中にたゝ松平伊豆守は自分の運命のものとなりつゝある。下人の役人共がどうして手出しが出來るものか。しかも、自分は圍到にも、その役人共に對しても、十分な禮金を與へることを怠つてゐない。

最は一層にも二層にも張られてゐるのだ。

「大丈夫だ」

敵は微笑して、易の筮竹について考へた。

「山地判官の書は城の内に在り、卽に、城の書は地圖の内に在る。

復の書は草木初生、勢盛發生の象だ。なるほど、敵の事も生生に成就するといふわけだ」

敵は易經の文句をくちずさんだ。

—★—

敵は平靜を裝つて、小机の下から、口が開いて首の長い、壺の酒瓶と同じく茶褐の敵の強い、壺を取り出した。酒一酌にして、ゆつくりと敵は壺をうつ、笑ひをそゝんだ眼と敵陣を見たのである。

—★—

これまで、どうしたら寫眞によくうつることが出來るか——といふ記事が、婦人雜誌やその他いろいろのものに出て來たものであるし、自紅を塗つたりすると、悪い顏はうつるなどといふ、顏は既に當識であつて今更取り立てて擧げるべき事柄ではない、また緊張感の不足は甘つたるくうつるから感心しないといふのも、極く緩の低い寫眞面での話で、今日ではパンクロマチック乾板やフキルターの發明に依つて、優秀な技術を要物にしてゐる緩の強い寫眞面ではなかく吉心してゐる。それだから昔のやうに、さうした寫眞にひどくこだはる必要はなくなつたが、同時にここに新しい寫眞が生れて來た。

—★—

それは寫眞技術に關聯にして、寫眞にも寫客の特質をつかみそれをレンズを通して活かし表現してゐる、昔日に於ける寫眞のポーズは昔のやうに既定不動式のものから一轉し、自然の姿を活寫することに移つてゐることは、既に御承知の通りである。

—★—

さて、寫眞技術家は、短かい時間に、まづ寫客の精神的特長を攝んでしまはなければならない。それには、寫客で濟しかへつてゐる客あれば直ちに休憩室に（當主自ら技術者である場合にても）技術者は客を見て客を觀察するといふと簡單であるが、その特徴を攝むために二三枚さすべきである。勿論客をジロ〳〵眺めたりするのはよくないが、お客を出した時など、軽く會話を交はして、その人の好みなどを聞くと案外ちやつかりしたヒントをつかまれるのである。

—★—

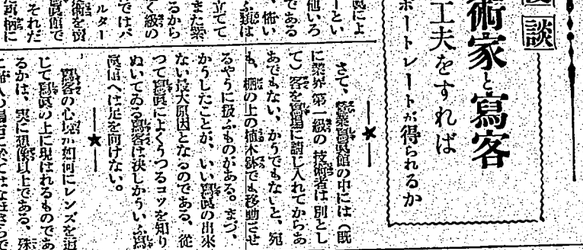
或る技術者は、寫客申告の場合には、體格の分類に依つて、その人の精神的特徴を攝み、婦人の場合には、色彩の好みに依つて、その特徴を察するといつてゐるが、これはたしかに一理あるが、おもにこの體格と色彩との好みを折衷して、そこに寫客の特徴を攝み出すことも、たしかに一つの方法である。

—★—

よいことであるが、特に婦人客をレンズに向つた時、何か嬉しい表情を思ひ浮べてゐると寫眞にはよく寫るといふが、精神的に動じやすい婦人の性格からすればさもあるべきことであらう。なほまた技術者は自分の所の型圖に寫客が立つた時からレンズのシャッターを動かすまでに決して不快の念を與へぬやう注意すべきこと、これは非常に大切な技術である。

—★—

まづ、體格の場合にこれを室内と戸外とに分けて見る、室内の中主として寫體に關するものは非活動性を視はし、性狀、戸外の場合、スポーツ、團體に關するものは活動性を與慮して、その性狀で



ある。更に、色彩については體好からいへば、寒色關係、暖色關係を好むものはその性狀故であり、明色關係、赤、黄、緑關係の色を好むものはその性狀動作である。これらを考慮に入れて體格の精神的關係と體色の好みに從つてそれぞれの工夫技巧を凝らすべきである。

—★—

よいことであるが、特に婦人客をレンズに向つた時、何か嬉しい表情を思ひ浮べてゐると寫眞にはよく寫るといふが、精神的に動じやすい婦人の性狀からすればさもあるべきことであらう。なほまた技術者は自分の所の型圖に寫客が立つた時からレンズのシャッターを動かすまでに決して不快の念を與へぬやう注意すべきこと、これは非常に大切な技術である。

—★—

まづ、體格の場合にこれを室内と戸外とに分けて見る、室内の中主として寫體に關するものは非活動性を視はし、性狀、戸外の場合、スポーツ、團體に關するものは活動性を與慮して、その性狀で

ある。更に、色彩については體好からいへば、寒色關係、暖色關係を好むものはその性狀故であり、明色關係、赤、黄、緑關係の色を好むものはその性狀動作である。これらを考慮に入れて體格の精神的關係と體色の好みに從つてそれぞれの工夫技巧を凝らすべきである。

—★—

よいことであるが、特に婦人客をレンズに向つた時、何か嬉しい表情を思ひ浮べてゐると寫眞にはよく寫るといふが、精神的に動じやすい婦人の性狀からすればさもあるべきことであらう。なほまた技術者は自分の所の型圖に寫客が立つた時からレンズのシャッターを動かすまでに決して不快の念を與へぬやう注意すべきこと、これは非常に大切な技術である。

秋の家庭園藝

春待つ花の手入れ

九月は八月のひまなのにひきかへ春咲きの球根の植付け、播種に忙しい月です、よく發展に關する取り扱いもしますが、それはその頃の氣候が種子を發芽のに、また植つけするのに具合がいゝからで、彼岸過ぎから十月中旬頃までの氣候にしたら大丈夫いろいろわけです

種子の種類　種花にしたらバンヂー、デイジー、ラ勿忘草、ロベリヤ、金盞花、矢車草、ルピナス、花菱草、花げし、撫美人草、シネラリヤ、プリムラ、カルセオラリヤ、シレネ、ペルペラス、スキートピー、カンパラ等、野菜では二十日大根、胡蘿大根、秋蒔のキャベツの類です

種子の蒔き方　種子の大きさによつて土の作り方を變へますが土は春の場合と同じく腐葉やこみを混ぜたものをまぜるのがよろしいが、ぬくことはいけません、穫りが硬ければ、もう一度すかしを入れます、そして苦い具合をみて肥料をやります、硫酸アンモニヤ一升の水に一匁の割水にとかしたのを、土が乾いた時適水するようにやればよろしうございます

春咲きの球根　これは地面を深くかくして球根の直徑の三倍の深さに植め、土を一寸ぬしつけておけば開に手入れはいりません、球の大きさによつて制限されるので、球の大きい程いい花が咲きます、ですから今肥料をやつても來年の花にはあまり關係しません

挿木も好期　挿木もいい時期です、躑躅、菊花の類を二寸位つけた長さに切り、三分の一ばかり土にさしておきます、肥料はやらない方が根を深山に出してよろしい、そして根が出たらいい土にうつしますから、あまり日光の強くない所に挿ておきます、挿す前にその枝を五パーセントの硫酸水に三時間から一晝位つけておくと、根の出が早くなります（迅村園藝部）

雜誌紹介

▲滿蒙研究（滿蒙研究會仲間良一郎村岡二郎）滿蒙に關する研究を目的とする新雜誌、滿蒙に關する研究を目的とする新雜誌、滿蒙に關する研究を目的とする新雜誌、

臺灣日日新報
本日夕刊共十二頁
昭和十三年九月二十五日（日曜日）
（第二種郵便物認可）
第一万三千八百三十六號

即時返還を勧告

英首相がチェ國に

ヒ總統の決意に屈して

ズデーテン問題

【ゴーデスベルグ二十四日發同盟】英獨會談決裂の大詰はヒトラー總統の鉄の如き決意の前に遂に來た。チェンバレン英首相はドイツ側の最後の要求を呑むべくプラハに對しズデーテン地方の即時返還をチェッコ政府に勧告するに同意し重大危機は一時緩和されたかに見えるが、然しチェッコはこれを容易に呑むとは思はれない、ドイツの脅迫は一二三日夜英獨會談決裂の暁に實行に移すとの最後通牒を發したと傳へられるから引込みは却々容易ではない、チェッコ政府

臺灣の園藝果樹
その進むべき方向
農林省 淺見園藝試驗場長談

長期戰下における土建資材の動向
日本土木建築統制會大阪支部調査

米管實施後と米資金の動き
銀行業者が多大の關心を拂ひ
片爲替にならぬやう切望

日本曹達が製鋼を合併
十月の總會に附議の上 年末實行の豫定

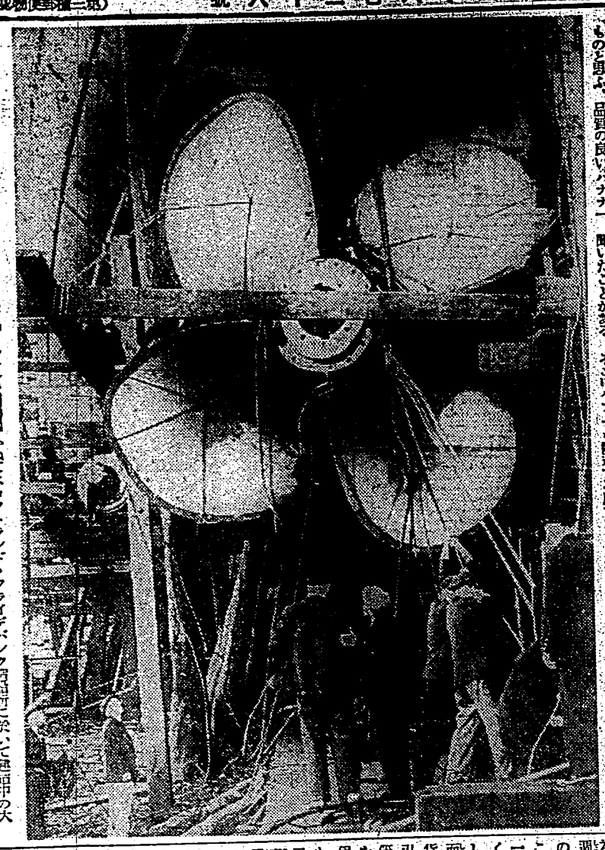
臺東廳が樹立する棉作十ケ年計畫
願勸業陣も五名の技手を增員 愈よ本腰を入れて着手

今年の果物一般に豐作
秋の味覺を乘せて 臺北市場へ出揃ふ

轉業對策部が店開き
戰時下物資の統制で仕事を失つた人々を進んで軍需工業に振り向けやうと云ふ轉業對策部が店開きをして新しい木札を掲げて氣の毒な人々の訪問を待つことになつた、初代部長淺見さんは大變な意氣込みである

七月末の生命保險契約は激增

巨大な推進機
【ロンドン特電廿四日發】かれてスコットランド・クライデバンク造船所に於いて建造中の大西洋の客船"クキュニリザベス"號は近々完成、來る二十七日エリザベス皇后陛下御臨席の下に盛大なる進水式を擧行することとなつた、寫眞は同船の第一スクリユウの取付作業）



公認 台北秋季競馬
九月廿五日（日）
主催 台北州畜產會
投票券 貳円

"忠勇に敢ふし"
銀盾 酒 忠勇

茶町二丁目台銀裏通（派出所前）
齒科 靑木齒科醫院
電話六七六五番

戰場將兵の記錄

☆敢殘部隊行動記（話）石島春草
☆竹塚日誌（話）永澤武夫
☆聖戰（稿）野島勳

改造

◆女性男裝と男性女裝（口繪）
◆日本映畫の諸相（文田鉦一郎）
◆世相漫畫（加藤悅郎・岸丈夫）
◆經濟警察の本質（吉田靜生）
★我亦一歩兵（鶴川時雄）
★豫見の科學性（山崎謙）
★夏の北滿行（荒木榮）

◆國策の一線（馬場恒吾）
◆アーリヤ第一（今泉孝太郎）
◆日文文化の相剋を論ず（クルト・ジングル）
◆見て來たソ聯（島田巽）
◆武漢・共產黨・ソ聯（川添樫樹）
◆武漢の上下流を旅して（竹内夏積）
◆戰爭・金融會社の行方（X・Y・Z）
◆北支・蒙古演劇紀行（小寺融吉）
◆大陸の洪水（多賀善彦）
◆風俗改良時代の美術（宮城季夫）
◆戰時下の美術（宮島資夫）

十月特大號　定價二十錢　改造社

大陸見聞錄　山本實彥

新文那聯邦論　吉岡文六

漢口攻略戰の意義　馬淵逸雄

新萬葉集完成　山本實彥・北原白秋・吉植庚申

經濟學の日本的性格　（加田哲二）

香港外人記者交遊錄　佐々木謙一

戰時體制下のドイツ　淡徳三郎

新たな危機に臨むスターリン政權　茂森唯士

チエコ問題をめぐる歐洲　木下半治

戰爭と詩　毛澤東

小說 敵國艦隊の襲來　G・バイヴ・コラ

武漢陷落直前の支那經濟　石濱知行

（陣中評論）

小說 ますらを　小田嶽夫

小說 間拔け　石和滋彦

小說 路地　張赫宙

小說 敦煌物語　松岡讓

（西域に出れば故人無からむと詠まれた敦煌に西域學者が憧憬する苦寺佛窟の仕舞を飾り得べきグンテイクたる名著出現。）

日本的進步主義と保守主義　長谷川如是閑

文藝雜感・正宗白鳥

◆歌日記…明石海人
◆孤島上海の雜觀…中山省三郎
◆寫生の旅…辻二郎
◆北洋漁業視察記…平竹傳三
◆南方だより…龍瑛宗
◆顏…徳川夢聲
◆大陸に進出する女…大宅壯一
◆新生…秋田雨雀
◆學生の集團勞動運動（中島健藏）
◆滿洲國軍の現狀（中川善之助）
◆死人のお祭り（北川民次）
◆漫談…平田禿木
◆無限…正木不如丘

六號批評（岡田八千代・阿部知二・小林秀雄・中村武羅夫・河上徹太郎）

◆次號創作募集
◆第十回懸賞當選發表
◆官僚と革新…關口泰

武田　發賣

腸疾患治療と豫防に　ビオフェルミン

ビオフェルミンは生活力及び繁殖力の旺盛なる乳酸菌を主劑とし、乳酸菌の作用を補強する一種の糖化菌を配せる乳酸菌療法劑にして腸内腐敗、異常醗酵及び有害細菌に起因する各種腸疾患の治療と豫防並びに傳染性腸疾患の豫防と保健に奏効すること は、臨床醫家の齊しく確認さるゝ所なり。

腸カタル、下痢の治療

急性及び慢性腸カタル、醗酵性下痢、消化不良、食傷其他諸般の下痢症狀にビオフェルミンを應用すれば腸内に生起する腐敗、異常醗酵を官退し、有害細菌の繁殖を阻止し、澱粉及び蛋白質を消化して、腸の生理的機能を正常に復し、腸カタル」下痢並びに之に伴ふ諸症狀を安全に除去す。

乳兒、小兒腸疾患に

乳兒、小兒の下痢症（緑便、水樣便、粘液便、不消化便等）のみならず、食慾不振、榮養障碍、發熱等の消化器疾患に對し、ビオフェルミンは服用容易にして、安全無害、副作用を伴はずして整腸消化及び腸内清淨効果を收め、腸機能を正常ならしめ、有害細菌による中毒症狀を消退せしむ。

陸軍藥局方外御指定藥品
官公私立大病院御採用

◇…ビオフェルミンは、副作用なく甘美味な藥劑で、服藥を嫌忌し勝ちな乳兒、小兒も喜んで服用す。

粉末と錠劑の二種、各地藥店にあり。

常習便秘、脚氣の治療

ビオフェルミンは腸内清淨及び消化と共に、腸の蠕動官能を調整し、生理的機能を鼓舞し、消化を佳良にし、且つビタミンB破壞を防止して抗病力を增强す。從つて脚氣の治療と豫防に奏効するほか、常習性便秘に對して一般下劑とは全く異りた る安全にして習慣性なき便通調整劑なり。

傳染性腸疾患豫防と保健

ビオフェルミン中の乳酸菌が腸内に於て產生する發生機の乳酸は强力なる殺菌作用を有し、危險な る有害細菌を殺滅して之が發育を防止す。腸の抗病力減弱、榮養障碍、身心過勞より乘せらるべき傳染性腸疾患＝腸チフス、赤痢、及び幼兒を襲ふ疫痢＝の豫防と保健に賞用せらる。

發賣元　製造元　東京市日本橋區通一丁目理研ビル
武田長兵衛商店　大阪市道修町二番地
小西新兵衛商店　神戸市生田町一丁目